



野球で福島を元気に!
 繋げよう絆・広げよう地域の輪



エフコムベースボールクラブ

第48回全日本クラブ選手権第二次予選東北大会

東北大会 優勝！！

◇試合結果◇

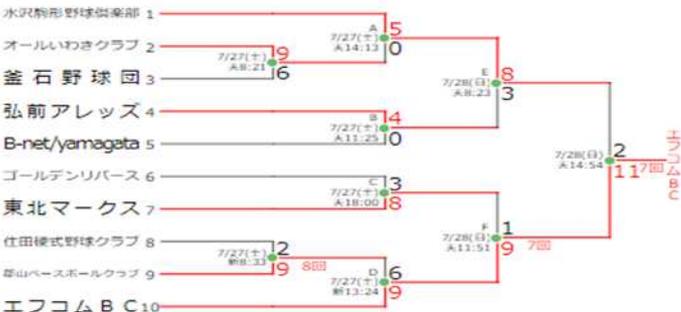
二回戦	V S	郡山B B C	(9対6)
準決勝	V S	東北マークス	(9対1)
決勝	V S	水沢駒形野球倶楽部	(11対2)



第48回全日本クラブ野球選手権第二次予選東北大会

天：天童市スポーツセンター野球場
 新：新庄市球場（あじさいスタジアム）

■第1・第2代表決定戦



■第3・第4代表決定戦



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



エフコムベースボールクラブ

エフコムBC 中島 周作 監督兼内野手、主将の八百板 飛馬 外野手と
最高殊勲選手賞受賞の伊藤 琉晟 選手より本大会のコメントをいただきました!

中島 周作 監督兼内野手

全日本クラブ選手権東北大会において、本当に沢山の応援いただきありがとうございました。
選手と応援が一体となり、優勝という最高の結果で大会を終えることができました。大会を通じて、改めて野球の楽しさと素晴らしさを体感させていただきました。今年のクラブ選手権での悔しさを知る選手と新人選手の澆刺プレーの融合で最高の試合内容だったと思います。選手、応援団の全員がMVPであり、全員で掴み取った優勝です。8月31日から行われる全国大会でも、チーム一丸となってプレーして参ります。
今後とも応援の程よろしくお願いたします。

八百板 飛馬 外野手 (主将)

全日本クラブ選手権東北大会も熱いご声援をいただきありがとうございました。
まずは、支えてくださったスポンサーの方々、球場までお越しいただいたサポーターの皆様、エフコムBCにご尽力いただいた全ての方々に御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。
今シーズン最大の目標である全日本クラブ選手権全国大会への切符を、優勝で締めくくることが出来ました。チーム力向上に努め、選手全員が同じ方向を向いて戦えたことが勝因だと思います。今年のチームの強みはカバーし合えるチーム力です!全国まで身を引き締め更なる高みを目指して参ります。全国でも熱いご声援よろしくお願いたします。
今後とも、ご声援の程宜しくお願致します。

伊藤 琉晟 外野手

全日本クラブ選手権東北大会において、暑い中沢山のご声援いただきありがとうございました。皆様のご声援が選手の力になり、私の地元山形での優勝と最高の形で全国の切符を手に入れる事が出来ました。この優勝はチームエフコムで勝ち取ったものであり感銘を受けました。全国大会でもチームエフコムのもと、エフコムらしい野球で必ずクラブ日本一を取り皆様と喜びを分かち合いたいです。足利でも皆様の熱いご声援よろしくお願いたします!

皆さんの声援が
私たちの力になりました!

ちびっ子応援団



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

二回戦 VS 郡山BBC

クラブ選手権東北大会初戦の相手は、福島県大会で何度も対戦経験のある郡山BBC。雨天とグラウンド状況により新庄球場での試合順序と開始時刻が変更になるも、初回、2回と先頭が出塁して幸先よく3対0とします。しかし3回の守備では、ヒットと内野安打などが続き5失点を喫してしまいます。その後、島崎・東海林・渡邊翼選手の3連打で逆転も、その裏に同点とされ試合は振り出しに戻ります。福島代表同士の試合は終盤までもつれ込みましたが、八百板飛馬選手の犠牲フライなどで得点を追加したエフコムに軍配が上がり、9対6で苦しみながらも初戦を突破しました。

島津 翔 選手

内野手/出身校：聖光学院高校 ⇒ 国舘館大学



八百板 飛馬 選手

外野手/出身校：聖光学院高校



島崎 開史 選手

外野手/出身校：日立第一高校 ⇒ 福島大学



東海林 歩喜 選手

内野手/出身校：仙台城南高校 ⇒ 八戸学院大学





野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

準決勝 V S 東北マークス

翌日の天童球場、勝てば全国大会が決まる大一番で先発を任された渡邊拓海投手。初回の立ち上がり、先頭を三振にするも続くバッターへの死球後に盗塁と中前打で先制を許してしまいます。しかし二回、今大会好調な島崎・東海林選手の連打からチャンスを作り、島津・松嶋選手の適時打などで4点を挙げ逆転。続く3回の島崎選手が四球・盗塁・送りバントで一死3塁の場面は、高野選手がスクイズを決めて5対1と更に突き放します。6回には長短打5本を含む攻撃で4点を追加。7回を全員で守り切り、渡邊拓海投手も1失点の完投、コールドゲームで全国大会出場権を勝ち取りました。

渡邊 拓海 選手 <先発>
投手/出身校：酒田南高校 ⇒ 東日本国際大学



松嶋 拓郎 選手
内野手/出身校：文星芸術大学付属高校 ⇒ 仙台大学



高野 光輝 選手
捕手兼コーチ/出身校：聖光学院高校 ⇒ 敬愛大学



八百板 卓丸 選手
外野手/出身校：聖光学院高校



※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

決勝 V S 水沢駒形野球倶楽部

全国出場を決めた直後の決勝戦では、都市対抗二次予選で対戦した水沢駒形倶楽部とのリベンジマッチとなりました。試合が動いたのは2回、先頭松嶋選手の右中間への3塁打でチャンスを作ると内野ゴロの間に得点し先制します。続く3回には、今大会初スタメンで地元開催である伊藤琉晟選手の打った瞬間に判る右翼へのの本塁打で完全に流れを掴みます。4回・5回にも猛打をふるい得点を重ね、投手陣も5回まで相手打線を佐藤一希、佐藤翔、芳屋、長根各選手の継投でノーヒットで抑えます。最後は小川選手が締め括り、準決勝に続きコールド勝ちを収めて東北第一代表で全国大会出場に華を添えました。

伊藤 琉晟 選手

外野手/出身校：酒田南高校 ⇒ 富士大学



佐藤 一希 選手 <先発>

投手/出身校：東海大学付属札幌高校 ⇒ 八戸学院大学



武藤 正大 選手

捕手/出身校：田村高校 ⇒ 八戸学院大学



芳屋 快 選手 <中継ぎ>

投手/出身校：能代松陽高校 ⇒ 福島大学



応援ありがとうございました！

※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。